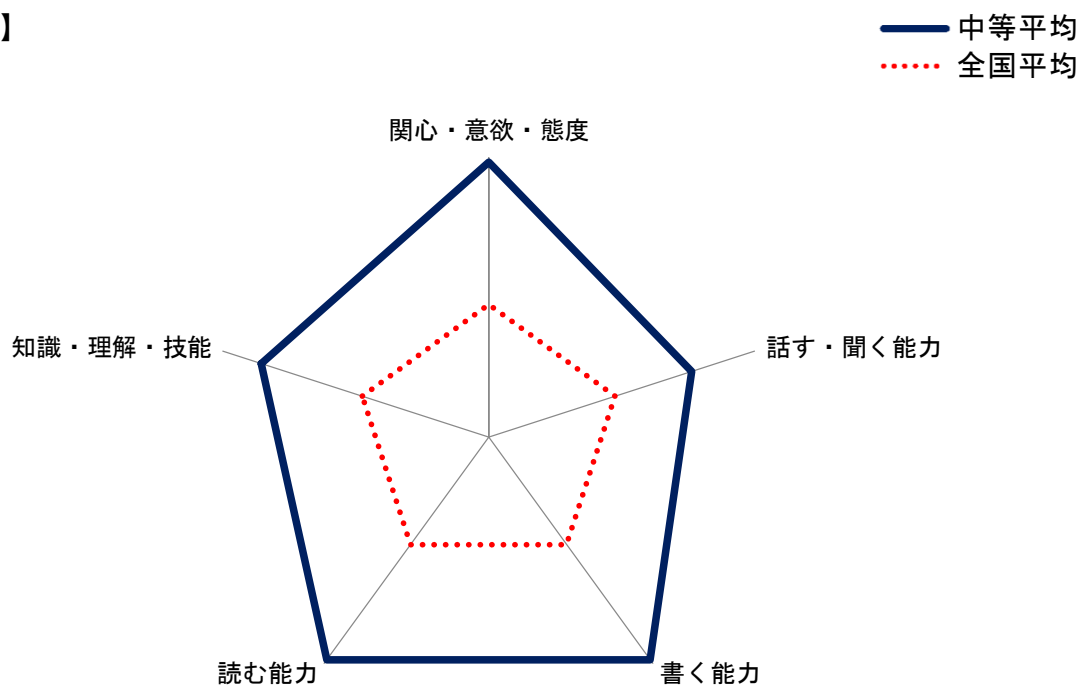
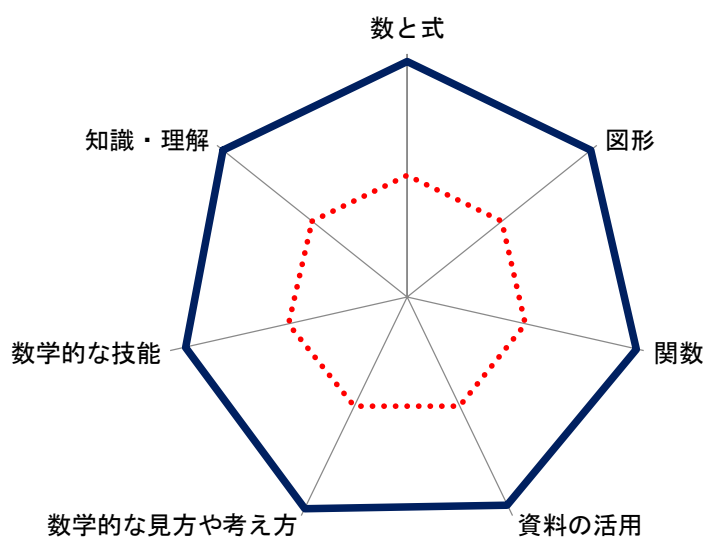


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

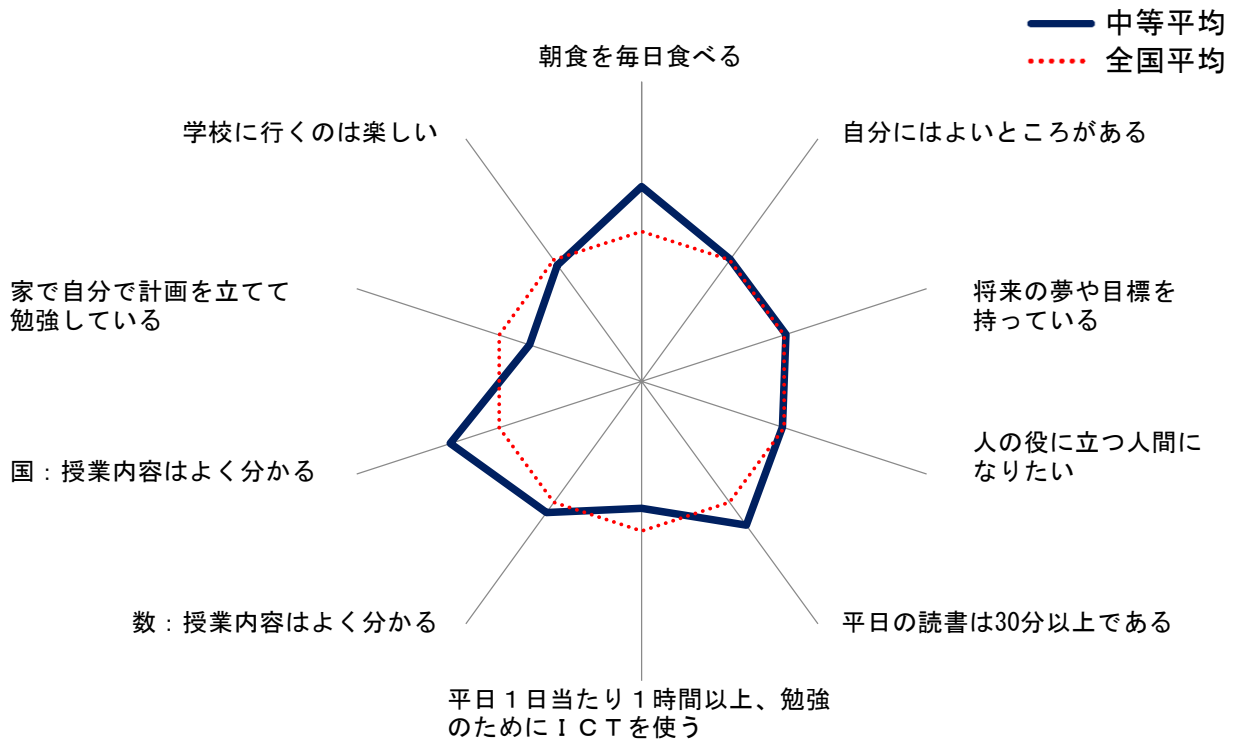
【国語】



【数学】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、数学ともに、平均正答率は、全ての項目で全国平均を上回っている。特に、国語では「読む能力」、数学では「数学的な見方や考え方」などの項目が良好である。新学習指導要領では、言語能力が学習の基盤となる資質・能力として位置づけられているので、今後は、各教科において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、言語活動に重点を置いた授業の実践に取り組むことが求められる。

生徒質問紙調査では、「朝食を毎日食べる」「平日の読書は30分以上である」の各項目は良好である。また、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」「学校に行くのは楽しい」の各項目は全国平均並み、「家で自分で計画を立てて勉強している」「平日1日当たり1時間以上、勉強のためにICTを使う」の項目は全国平均を下回っていることから、各校がそれぞれの実情に応じて、集団生活や地域社会に貢献する活動、奉仕的な活動などを通して、自己肯定感を育む指導の充実に取り組むとともに、ICTを効果的に活用することによる、学習の習慣化につながる工夫を、より一層図ることが望まれる。